

図書館だより

子どもの本棚

毎日続く雨。じめじめした梅雨の季節、大人たちはなるべくじっとして過ごしたいと思いますが、パワー溢れる子どもたちは、そうはいきません。なんとか楽しむ方法はないか、うずうずしているはず。そんな気持ちに少しでも手助けを。雨の日が楽しくなる絵本、雨の美しさを知る絵本、家の中で楽しく読める絵本がたくさんあります。

『くまのアーネストおじさん あめのひのピクニック』

作・絵：ガブリエル・バンサン 訳：もり ひさし

1983年発行



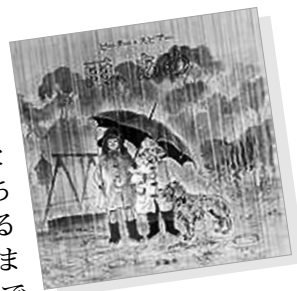
ピクニックの当日、どしゃ降りの雨で悲しむねずみのセレスティーヌ。それを見た熊のアーネストは雨の中でピクニックをすることを提案します。レインコートに傘を差し、お弁当や果物を持って…。そして、2人は、森の中にテントを張りその中で楽しい一時を過ごしていました。そこへ森の地主がやって来て「ここは私の森だ。出ていってもらいたいね。」と追い出そうとします。しかし、アーネストは「ぼくたち、やっと落ち着いて楽しくやってるんです。追い出したりしないでくださいよ。」とお願いします。セレスティーヌも「おじさんもテントの中へ入ったら…」と地主を誘

います。地主も納得し3人ですてきなピクニックを楽しみました！

楽しみにしていたピクニックやお出掛けが雨で中止になった時、悲しいですよ。同じように、ピクニックが雨で中止になってしまったセレスティーヌを見て、アーネストは雨の中のピクニックを提案。アーネストの優しさ・温かさに心打たれます。何よりもこんなピクニックだったら楽しいだろうなあ、行ってみたいなあという思いにさせてくれます。

『雨、あめ』 作・絵：ピーター・スピーアー

1984年発行



女の子と男の子が、降り出した雨の中、レインコートを着て長靴をはき、傘を差し出掛けます。2人が雨の中を散歩しているとたくさんの新しい発見に出会いました。雨の滴がキラキラ光る蜘蛛の巣や木についた雨の滴…。雨に煙る子どもたちのシルエット、水溜まりに描かれる波紋、排水溝に流れ込む水や雨宿りの動物たち。子どもたちは、雨どいの下で雨に打たれてみたり、転んだり、びしょ濡れになって雨の中を歩き回ったり、大きな水溜まりに入ってみたりと雨の中の冒険を楽しみます。やがて、雨が土砂降りになり、雨をたっぷり楽しんだ子どもたちはびしょ濡れで家に帰ります。家に帰るとママが温かいお風呂をわかして待っていてくれます。お風呂に入り、夕食を

とり、眠りにつきます。

普段気がつかないような何気ない雨の風景がとても新鮮で、雨の中であちこちが生き生きと変化するいつもと違う世界が覗けます。心が澄んでくる絵本でまるで短編映画でも見ているようでページの隅々まで楽しみたい一冊です。絵本を読んだ後は、これまでの雨は憂鬱、遊ばなくて嫌だなど思っている視点を、雨降りは楽しい、に変えてくれそうです。雨が降ってきても、長靴を履いて傘を差し外に出掛けたくなるでしょう。

Peek a Boo

～あかちゃんとおかあさんの絵本の時間～

6月19日(火) 10:30~11:00 ☆毎月第3火曜日☆

乳幼児と保護者を対象に、1F絵本コーナーで手遊びや読みかかせをしています。どなたでもお気軽においでください。

開館時間	本館 枝川分室	9:30~18:00
休館日	本館	毎週月曜日・祝日 館内整理日(29日金曜日)
	枝川分室	月・水・金・日・祝日
電話番号	本館	☎ 850-4360
	枝川分室	☎ 850-4350

<http://inolib.town.ino.kochi.jp>

くつしたのあな

～おはなし会を開いています～

6月16日(土) 14:30~15:00

5、6歳から小学生のみなさんのためのおはなし会です。ストーリーテリングや絵本の読みかかせをしています。是非、遊びにきてください。

6月の展示

- ・石井桃子さん100年記念展
 - ・日野原重明さんの「いのち」と「心」
- 他